

(仮称) 総合体育館建設に向けてのワークショップについて

(1) ワークショップ開催の目的

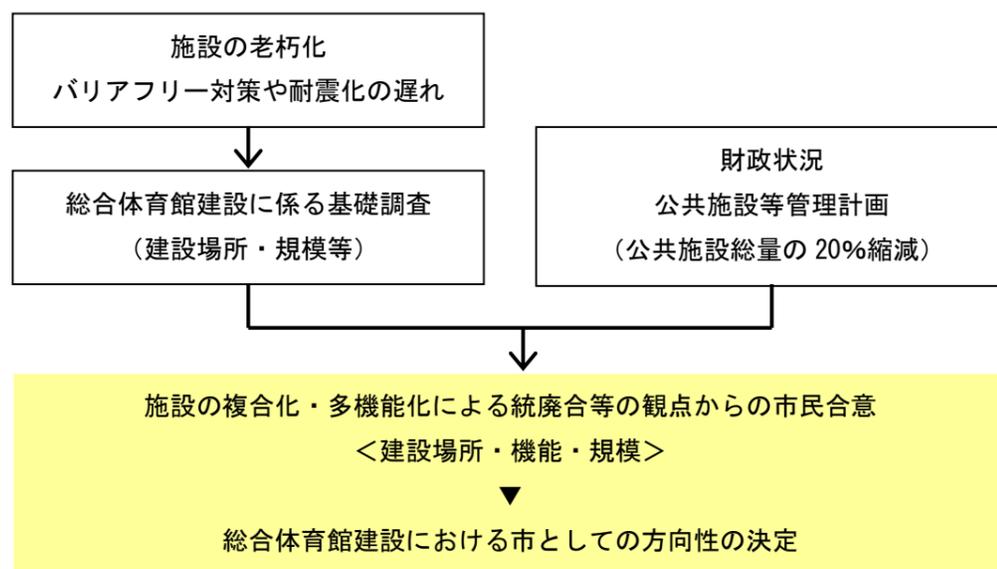
大牟田市民体育館は、昭和 49 年に開設され、市民のスポーツ活動や健康推進の拠点施設として 40 年を超える年月にわたって利用されてきましたが、建物の老朽化やバリアフリー対策、耐震化の遅れなどが課題となっています。

このため、「大牟田市総合体育館建設に係る基礎調査」を平成 26 年度に実施し、建設場所や規模などについて報告書を取りまとめました。しかし、体育館建設を進めるにあたっては、施設の機能や規模をどのようにするかなど、さまざまな意見があるなかで、本市を取り巻く状況、特に財政状況や「公共施設等維持管理計画」における公共施設総量 20%縮減、施設の複合化や多機能化による統廃合などの観点などに対応した施設整備を図る必要があります。

このような状況のなかで、総合体育館の建設を推進していくためには、市民の合意形成が重要な課題であることから、市の現状を示したうえで、広く市民の意見を聴き、市としての方向性を決定していくためにワークショップを開催します。

さらに、ワークショップの結果をもとに、パブリックコメントにつなげていきます。

■ワークショップ開催の目的

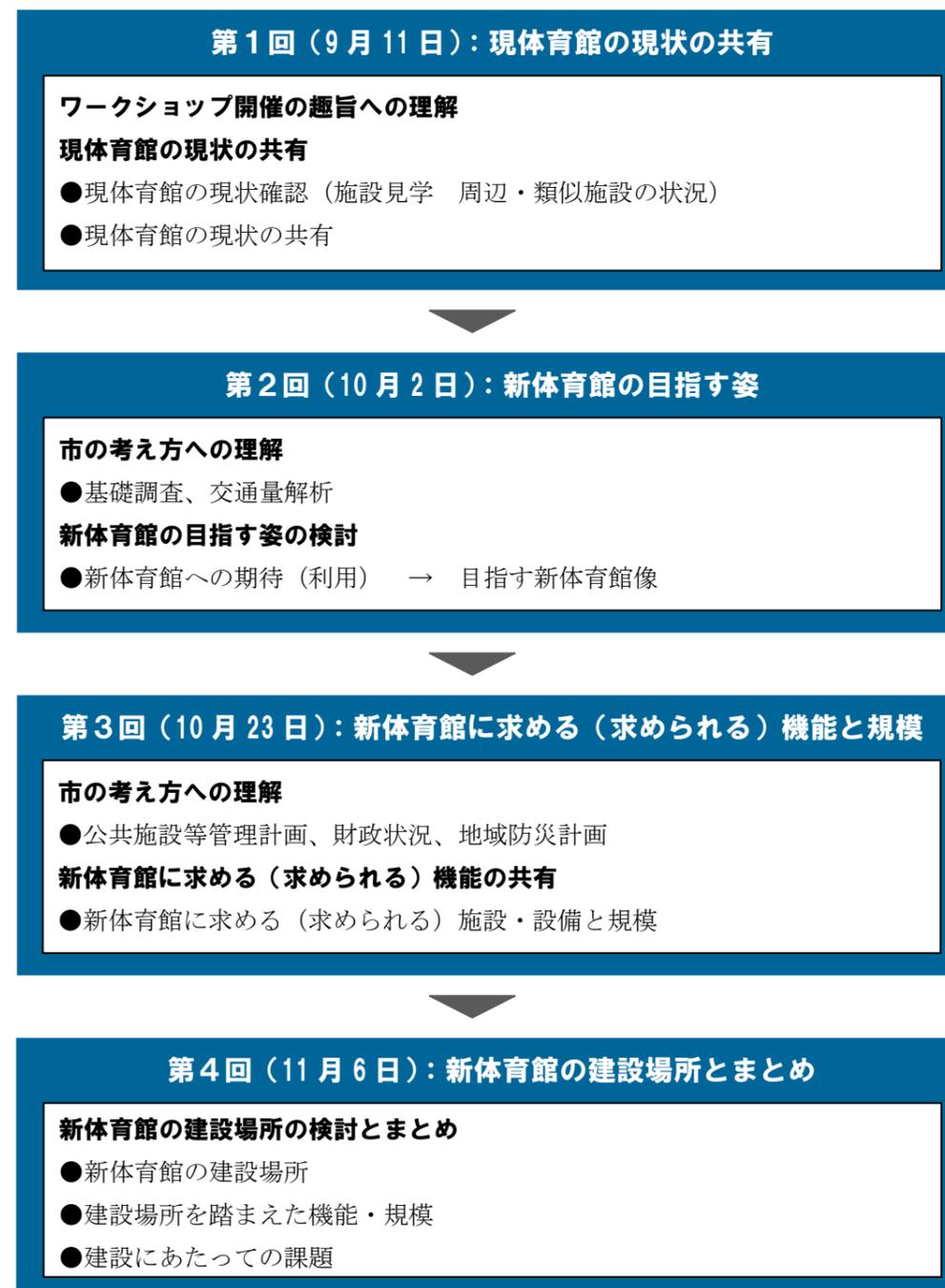


(2) ワークショップの構成等

ワークショップは、次のページに示すように 4 回開催し、財政状況などの現状の説明を行いながら、体育館建設の機能や規模、建設場所などについて班別に話し合い、意見をまとめていきます。

なお、参加者は、各スポーツ団体をはじめ各種団体の推薦者、一般公募、さらに次世代の本市を担う高校生で構成されています。

■ワークショップの構成



第1回 (9月11日): 現体育館の現状の共有

ワークショップ開催の趣旨への理解

現体育館の現状の共有

- 現体育館の現状確認 (施設見学 周辺・類似施設の状況)
- 現体育館の現状の共有

第2回 (10月2日): 新体育館の目指す姿

市の考え方への理解

- 基礎調査、交通量解析

新体育館の目指す姿の検討

- 新体育館への期待 (利用) → 目指す新体育館像

第3回 (10月23日): 新体育館に求める(求められる)機能と規模

市の考え方への理解

- 公共施設等管理計画、財政状況、地域防災計画

新体育館に求める(求められる)機能の共有

- 新体育館に求める(求められる)施設・設備と規模

第4回 (11月6日): 新体育館の建設場所とまとめ

新体育館の建設場所の検討とまとめ

- 新体育館の建設場所
- 建設場所を踏まえた機能・規模
- 建設にあたっての課題